

生活

seikatsu@asahi.com

駄菓子屋で店番 つながる幸せ

この部屋で

住人 女性・87歳
 物件 サービス付き高齢者向け住宅
 広さ 約18平方メートル(自室)
 月額費用 約21万円

「この年で役割が持てるなんて、幸せです」と話す。

実は駄菓子屋があるのは、3階建てのサービス付き高齢者向け住宅「銀木犀 浦安」(千葉県)の1階だ。式守さんは、71歳から99歳までの入居者42人の1人として、一昨年1月から暮らしている。

運営会社が駄菓子屋を併設したのは、認知症の入居女性が「子どもが来るとうれしいな」とつぶやいたのがきっかけだ。地域とつながり、必要とされる存在だと実感してもらい、最期まで元気に暮らせる「第二の家」であってほしい。そんな願いから生まれた。店を開けるのは午前10時〜午後5時、多い時は1日200人以上が訪れる。式守さんはほぼ毎日、2〜3時間は店に出る。

「はさみ、410円。とつち、ありがね」。ゆっくりに駄菓子を袋に入れ、お釣りを渡す。小学6年

1931(昭和6)年、東京・南千住で銭湯を営む両親のもとに

高齢者住宅に併設 地域の子集う

結婚してまもないころとみられる写真。「商売繁盛で忙しかったね」



生まれた。6人きょうだいの長女で、幼いころから番台に座り、「お風呂屋のえっちゃん」とかわいがられた。戦争で店を閉め、石川県に疎開。戦後東京に戻り、18歳で結婚した。

夫婦で営んだ東京・木場の銭湯は2階建てで、娘2人と義母のほか、住み込みの番頭ら計10人ほどが寝食を共にしたこともある大所帯。一升五合のご飯をおひつに盛り、にぎやかに食卓を囲んだ。やがて家庭風呂が普及し、60歳で廃業。幼いころから50年以上なじんだ番台を降りた。銭湯を改装した家で夫、次女と暮らしたが、12年前に夫が他界。次第に体が弱り、介護を担ってくれてきた次女も病を患った。一昨年、家を手放

一日あっという間 もう寂しくない

し引越すのを機に「一人暮らしも悪くはない」と、次女に住まいを探してもらい、ここへ移った。サ高住は国の制度に基づく住宅で、職員が常駐し、安否確認や生活相談サービスが付いている。式守さんの場合、家賃9万円に食費、光熱費、生活支援サービス費を合わせた基本費用は月額約21万円。別契約で介護サービス、訪問診療なども利用できるほか、食事の好き嫌いに対応してくれ、「ひとり」もしてくれるのが入居の決め手になった。

ただ、「人生初の一人暮らし」だっただけに、当初は寂しさから泣いてばかり。見かねた職員が、駄菓子屋の店番をしてもらえないかと声をかけた。今では「駄菓子屋のおばあちゃん」と、ハイタッチしてくる子どももいる。

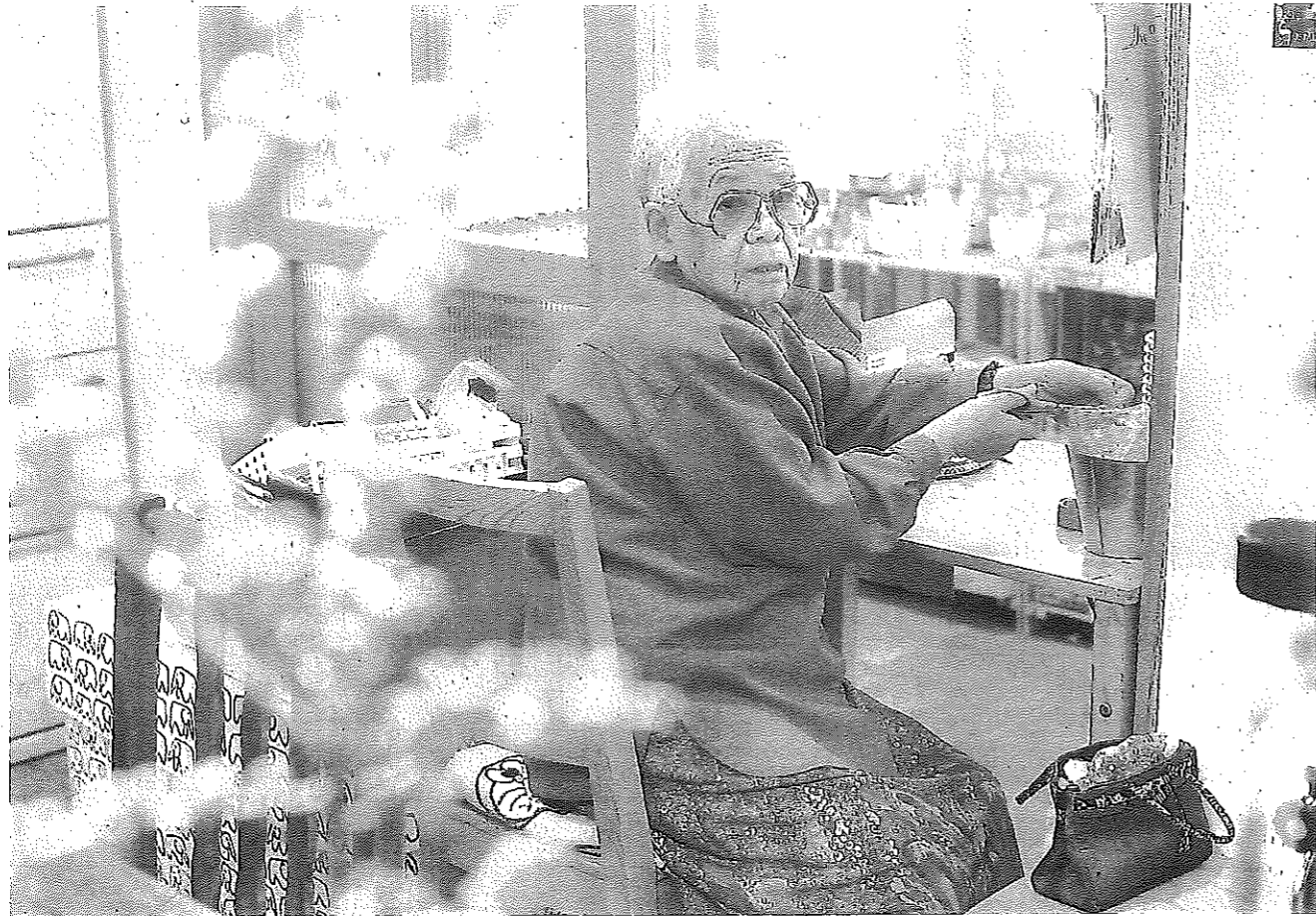
駄菓子屋と食堂にいるとき以外は、多くの時間を自室で過ごす。ぬくもりを感じるヒノキの床に、白い壁。広い窓から明るい光が差し込む。洗面台やトイレなどは備え付けで、冷蔵庫、整理ダンスなどは自前で用意した。

ピースでめがねチェーンを作るのが、至福の時間だ。若いころ洋裁学校に通い、針仕事は得意。6千粒ほどの小さなピースの穴に針で糸を通し、1本約60秒のチェーンに仕上げる。部屋を行き来する友だちに贈るのが楽しみだ。ヘルパーらと世間話に笑い合い、「あっという間」に一日が終わる。

昨年6月、室内で転び、右太ももを骨折して1カ月入院した。車いすから、「奇跡の復活」で歩行器に移った。今の目標は、夫の形見の杖だけで、銀座のピース店まで出かけること。早朝と深夜の30分、みなが寝静まった廊下を一人で歩き、リハビリに励む。

銀木犀で暮らす日々のなかで、最近よく思い出すのは戦時中のことだ。学校に行けず、友人は爆撃で亡くなった。今も、飛行機の音を聞くと爆音を思い出す。だから、気にかかるとは子どもたちが犠牲になるニュース。好きな駄菓子を買って、地域に開放しているスペースで遊ぶ子どもたちの姿に「平和」を思う。

地域や友人、職員らとの心地良いつながり。今はもう寂しくはない。人生を振り返る一人の時間を紡ぎながら、最期も見据える。訪問美容の日。カットとパーマを終えて美容師に次回の日程を尋ねられ、冗談まじりに「命あれば、1カ月後ね」とにこやかに答えた。「お世話になったんだもの、最期はここで。大事なものは死に様ね。厄介にならず、ころりと逝くためにも元気で暮らしたい。だから一生懸命、駄菓子屋もお手伝いしているの」(森本美紀)



花が飾られた共有スペースからつながる駄菓子屋のお勤定場で店番をする式守さん。店には駄菓子がずらりと並び、千葉県浦安市、いずれも北村玲奈撮影



⑤食事は、他の入居者と食堂でとる。式守さん(右手前)には、苦手の野菜抜きが用意された(写真の一部を加工しています) ⑥自分でお直ししたワンピースを着て自室で過ごす式守さん。歩行器でリハビリに励む